

令和3年5月28日 南海日日新聞掲載

祝

文部科学大臣賞受賞

住用小が文科大臣賞

アユ保護活動継続を評価

奄美市

奄美市住用町の住用小学校（久永浩幸校長、児童19人）は、第75回愛鳥週間2021年度野生生物保護功労者表彰で、文部科学大臣賞を受賞した。絶滅危惧種リュウキュウアユの継続的な保護活動が評価された。27日、市内の県大島支庁で表彰伝達式があった。

同表彰制度は、環境省と日本鳥類保護連盟が主催。環境大臣賞や文科大臣賞、林野庁長官感謝状などに全国から計20の個人や団体を選出。文科大臣賞には住用小を含む2小学校が選ばれた。

リュウキュウアユは、天然では奄美大島だけに生息。沖縄本島では、開発などによる環境悪化で1970年代に絶滅した



野生生物保護功労者表彰で文科大臣賞を受賞した住用小学校の久永校長（右から2人目）、6年の濱本さん（同3人目）ら。27日、奄美市名瀬の県大島支庁